



Press Release
HBC 北海道放送株式会社

※「ガッチャンコ」とは…
「くっつける」「ひとつになる」という意味で使われる言葉。
HBCが、人と人、地域と地域を「つなぐ」存在でありたい
という願いがこめられています。

2020年6月1日

第57回ギャラクシー賞 報道活動部門入賞！テレビ部門奨励賞！ HBC制作ドキュメンタリー 「ヤジと民主主義～警察が排除するもの～」

HBC北海道放送が制作したテレビドキュメンタリー番組「ヤジと民主主義～警察が排除するもの～」が第57回ギャラクシー賞(主催 放送批評懇談会)の報道活動部門で入賞し、テレビ部門でも奨励賞に選ばれました。この後、各部門の入賞作品6本から、大賞1本、優秀賞2本、選奨3本が選定され、7月2日に発表されます。

【番組名】「ヤジと民主主義～警察が排除するもの～」

【放送日時】 2月2日(日)25時20分～25時50分 JNNドキュメンタリー「ザ・フォーカス」
※北海道での放送は2月24日(月・祝)10時50分～11時20分

【内容】

2019年7月15日、札幌での安倍首相の応援演説で、「安倍やめろ」とヤジを飛ばした男性が警察官にその場から排除された。さらに「増税反対」と声を上げた女子大生も同様だった。

その日排除されたのは声を上げた人だけではなく、無言でプラカードを掲げた人もいた。プラカードを掲げられなかった女性はこう語る。「無言でプラカードを掲げるというのは、誰にでもある権利。弱者ができる唯一の一人だけでできることを奪う国は、民主主義ではない」。

かつて日本では言論の自由が抑圧されていた時代があった。治安維持法によって、思想の自由さえも奪われていたのだ。声に出した中身や無言で掲げるプラカードの内容によって、排除の対象にされてしまう。あの日、札幌では、どこか遠くに感じられていた時代のように、民主主義が大きく制限されていたのではないだろうか。

【講評】 ※放送批評懇談会のプレスリリースから

安倍首相の街頭演説にヤジなどで抗議の意思を示した人々を排除し付け回した警察の過剰警備問題を粘り強く報道。小さな権利迫害も大きな圧力に通じかねないという危機感を支えた地道な報道活動。

◆お問い合わせ：HBC北海道放送社長室広報CSR部

(Tel:011-232-5821)